

## 第 21 回 在外教育施設教員国内研修会

東京学芸大学国際教育センターでは、海外の日本人学校や補習授業校で働く先生方、特に現地で採用された先生方を対象に、毎年研修会を行っています。この研修会では、講義や演習、学校訪問等を通して、在外教育施設における教育の一層の充実を図ることを目的としています。普段なかなか知り合うことのない他の学校の先生方との情報交換をしていただき、国内の教育の現状を見ていただく良い機会になると思いますので、ぜひご参加ください。

去年参加してくださった先生方からの感想

- ・他の補習校の先生とネットワークができて良かった。
- ・講義を聴いて、自分の教授法に理論付けができた。自信が持てた。
- ・実践のヒントをたくさんもらって、これからの自分の授業に活かそう。

定員(15名)に達し次第、受付を終了させていただきます。

研修の日程、内容等につきましては現在調整中です。

### [昨年度の日程](#)

研修会参加費は無料です。

日時:平成 18 年 8 月 29 日[火]~9 月 7 日[木](終了)

場所:東京学芸大学 国際教育センター他

問い合わせ:東京学芸大学 国際教育センター

担当:見世千賀子

## 第 7 回 外国人児童生徒教育フォーラム

■日時:平成 18 年 10 月 7 日(土)9:30~16:40(受付 9:10~)(終了)

■場所:津田ホール 1 階会議室(T101・102)

(>>[津田ホール HP](#)へ/外部リンク)

(〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-18-24 TEL 03-3402-1851)

最寄駅 JR中央線(各駅) 千駄ヶ谷駅

都営地下鉄大江戸線 国立競技場駅

■テーマ:外国人児童生徒教育と教師—その役割と力量形成

■定員:80名

### プログラム

【1】 9:30-9:45

開会式

東京学芸大学国際教育センター長 加藤祐司

東京学芸大学教育等担当理事・副学長 村松 泰子

【2】第一部 9:45-10:20 講演「我が国の外国人児童生徒教育」

文部科学省初等中等教育局国際教育課 課長 手塚義雅

【3】第二部 10:25-12:30 シンポジウム「外国人児童生徒教育における教師の力量形成」

・教師の力量形成と成長—教師教育学の立場から— 静岡大学教育学部教授 山崎 準二

・国際教室担当教員としての力量形成 神栖市立植松小学校教諭 山中文 枝

・外国人児童生徒教育における教師の指導力 東京学芸大学国際教育センター助教 臼井智美

※休憩 12:30~13:30

【4】第三部 13:30-15:30 パネルディスカッション「外国人児童生徒教育における教師の専門的役割とは」

・国際教室担当教員の観点から 四日市市立笹川東小学校教諭 福永 純子

・バイリンガル教員の観点から 太田市立沢野中央小学校教諭 後藤智 華子

・授業作りの観点から 同志社女子大学現代社会学部教授 藤原 孝章

【5】第四部 15:40-16:35 参加者風景・シンポジスト・パネリストを囲んでの意見交換会

【6】16:35-16:40 閉会の辞

## 第27回 海外子女教育セミナー

■主催 東京学芸大学国際教育センター

■日程 11月25日(土) 13:00~16:30

26日(日) 10:00~16:00(終了)

■会場

東京学芸大学小金井キャンパス 国際教育センター(合同棟)1F 大教室

JR中央線武蔵小金井駅北口より

京王バス「中大循環」にて「学芸大東門」下車、徒歩5分

■参加費 無料

■対象 日本人学校、補習授業校への派遣に関心のある教員とその家族の方はもちろん、海外子女教育に関心をおもちの方ならどなたでも参加できます。

## ■プログラム

【11月25日(土)】(テーマ:海外子女教育の過去・未来・現在)

12:30 受付開始

13:00 開会式

13:30 基調講演「海外子女教育研究の回顧と展望」

西村俊一(東京学芸大学国際教育センター教授)

15:00 休憩

15:15 講義1「在外教育施設における授業づくり」

見世千賀子(東京学芸大学国際教育センター講師)

16:15 質疑

16:40 終了

【11月26日(日)】

10:00

講義2「海外子女教育の現状と教員派遣制度」

新津勝二(文部科学省初等中等教育局国際教育課 海外子女教育専門官)

11:00

特別講演「海外子女教育の歩みを振り返る」

大野正雄(アジア・アフリカ国際理解資料センター)

12:30 休憩

13:30 在外教育施設への派遣経験をもつ教員による実践報告会

司会 高木光太郎(東京学芸大学国際教育センター助教授)

## 報告者

- ・仙石晴彦 前ペナン日本人学校 教諭／岸和田市立春木小学校 教諭
- ・高田 玄 前上海日本人学校 教諭／宇都宮市立篠井小学校 教諭
- ・瀬野尾千恵 前デュッセルドルフ日本人学校 校長／横浜市立二俣川小学校 校長
- ・大槻裕一 前ニューデリー日本人学校 校長／仙台市立野村小学校 校長
- ・大橋宏朗 前コロンバス日本語補習校／北海道八雲町立熊石第一中学校

15:10 休憩

15:20 質疑と討論

16:10 終了

## 第3回 国際理解教育セミナー

■主催 東京学芸大学国際教育センター

■日程 2007年2月12日(月) 13:00~17:00

■会場

東京学芸大学小金井キャンパス 国際教育センター(合同棟)1F 大教室

JR中央線武蔵小金井駅北口より

京王バス「中大循環」にて「学芸大東門」下車、徒歩5分

■参加費 無料

■対象 国際理解教育の研究者、実践者、教育関係者をはじめ、国際理解教育に関心のある方ならどなたでもご参加いただけます。

■講師

・宇土泰寛氏 (東京都港区立三光小学校)

・成田喜一郎氏 (東京学芸大学附属大泉中学校)

・嶺井明子氏 (筑波大学)

### 【セミナーの概要】

国際教育センターは、2004年度から「国際理解教育セミナー」を開催している。第1回は「国際理解教育の新機軸—多文化・地域・市民性—」、第2回は「国際理解教育のおもしろさはどこにあるか—改めて国際理解教育の可能性を問う—」というテーマで実施した。第3回目にあたる今回は、この曲がり角に立つ国際理解教育に目を向けたい。市場原理が教育に導入され、矢継ぎ早に改革案が示される中、国際理解教育の実践が大きく後退しつつある。しかも、愛国心教育や奉仕活動といったように国家的な公を強化する動きもみられる。「国際社会の中で日本人としての自覚をもち主体的に生きていく上で必要な資質や能力を育成すること」「我が国や郷土の歴史や文化・伝統に対する理解を深め、これらを愛する心を育成する」といった言葉からも把握できるように、国際理解教育が「国家＝公」という枠組みのもとで、新しいナショナリズムの動きと連動しつつある。国民的アイデンティティを強化するだけでなく、また、実態のない「地球市民教育」の議論をこえた新しい国際理解教育について実践をも視野に入れ検討する必要がある。

こうした中で、国際理解教育をどのように考えたらいいのか。改めて再考してみたいというのが今回のセミナーの趣旨である。そこで、国際理解教育の実践がいまどのような状況にあるか、教育改革の中で国際理解教育がどのように議論されているか、

国際理解教育の枠組みをどのように考えたらいいか、たとえば市民性教育といった側面から議論したい。

#### プログラム(予定)

- 13:00-13:15 開会式(センター長)
- 13:15-13:30 趣旨説明
- 13:30-14:10 提案1 宇土泰寛 (三光小学校)
- 14:10-14:50 提案2 成田喜一郎(附属大泉中学校)
- 14:50-15:30 提案3 嶺井明子 (筑波大学)
- 15:30-15:45 休憩
- 15:45-17:00  
パネルディスカッション

国際理解の今後の課題をめぐって—市民性教育の観点から

## 第10回 国際教育シンポジウム

- 日時:2007年3月3日(土)午前10時より午後4時40分
- 会場:虎ノ門パストラルホテル 新館5階 ローレル  
(〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-1 03-3432-7261)
- 最寄駅:地下鉄日比谷線神谷町駅4b出口より徒歩2分  
地下鉄銀座線虎ノ門駅2番出口より徒歩8分
- 参加費:無料
- 定員:100名
- プログラム
- 9:30 受付開始
- 10:00-10:15 開会式  
東京学芸大学国際教育センター長 加藤祐司  
東京学芸大学教育等担当理事・副学長 村松 泰子
- 10:20-12:00 特別講演 「グローバル化と教育—21世紀の教育を考える—」  
日本大学文理学部教授 広田照幸
- 13:10-14:40 「言語学と言語教育—南の島と日本で—」  
東京学芸大学国際教育センター教授 杉田洋
- 15:00-16:30 「国際教育研究の回顧と展望」  
東京学芸大学国際教育センター教授 西村俊一

16:35-16:40 閉会の辞